

ふれあいの橋の会

REPORT よなご

と き 2026年7月2日(木) 11:00～ 12:30

訪問先 キッズタウンかみごとう 米子市両三柳1400

キッズタウン第2保育園

児童発達支援事業所・キッズタウンからふる

出席者 【委 員】 田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義、三島 峰子

【よなごエリア 川端 紀子 (キッズタウンかみごとう 園長)

森安佐徳子 (キッズタウン第2保育園 園長)

白土 恵美 (児童発達支援事業所・キッズタウンからふる 管理者)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

YONAGO Area Report





荒井監事：本日は、「キッズタウンかみごとう」、「キッズタウン第2保育園」
「児童発達支援事業所・キッズタウンからふる」を見学していただきます。

■施設の現況・課題

川端園長：2002年4月に認可保育園として開園した「キッズタウンかみごとう」は、2015年4月から幼保連携型認定こども園に移行し運営しています。定員については、7月1日から120名を110名に変更しました。基本単価の見直しに繋がるものですが、推移を見ていこうと考えています。最近、自閉症やダウン症など支援が必要な園児が増加傾向にあり、「キッズタウンからふる」と連携しています。7月9日（木）には、「夏祭り」を開催します。8月には、「谷川探検」を予定しており、自然とのふれあう機会を増やそうと考えています。

森安園長：2004年4月に開園した「キッズタウン第2保育園」は、定員45名ですが、現在は0歳児6名、1歳児19名が通園しています。一人一人の発達や思いに寄り添った温かく丁寧な保育を大切に、遊びの中で「やってみたいという」気持ちを育みながら、自己肯定感や意欲を育む保育を行います。また、保護者と子どもの育ちを共有し、安心して子育てができるよう支援していきます。そして、からふるや地域の高齢者との交流も進め、子ども達の豊かな育ちにつなげていきたいと考えています。今月は、親子で楽しめる夏まつりを計画しています。

白土管理者：2021年4月に開園した「児童発達支援事業所・キッズタウンからふる」は、0歳から就学前までの、発達やことば、コミュニケーションなどに支援を必要とするお子さんを対象としています。米子市が中心になりますが、境港市や安来市、倉吉市などからの利用もあります。幼稚園や保育園を利用しながら通っていただいています。保育士、言語聴覚士、作業療法士、公認心理師による専門的な観点で子どもの成長をサポートしています。夏祭りや大山青年の家でのソリ遊びなど、ご家族との交流を深める行事も行っています。



荒井監事：3歳未満の未就園の児童について、一定時間の利用ができる「こども誰でも通園制度」が開始されたと思います。米子市ではどのような対応になっていますか。

川端園長：保育園等に通っていない児童を対象に、一人当たり月10時間まで保育園を利用できる制度

ですが、一時預かりなどもあり、積極的なアナウンスはされていません。

②

福谷委員：米子市では、ふれあいの里（錦町）に子育て支援センターやこども支援課など、子ども関係の窓口を集めており便利です。民生児童委員としていろいろ利用しています。

三島委員：国は、少子化対策や子育て環境の改善など、様々な取り組みをしていますが、なかなか効果が表れませんね。全国の自治体が人口減少で困っているようです。

名越委員：「からふる」は、発達が気になるお子さんを対象に支援をされており、大事な施設だと思います。米子市以外の市町村からの利用がありますが、同様の施設がないということですか。

白土管理者：10名以下での小集団での事業所が市内では少ないことや、言語聴覚士、公認心理師などが在籍し、専門性の高い支援が受けられることで選ばれていると思います。

名越委員：倉吉市から利用する場合、保護者は、利用が終わるまで待機しているのでしょうか。

白土管理者：送迎は、米子市内に住む祖父母がされるなど工夫をされています。

福谷委員：少子化の影響で、年々子どもの数が減少していると思います。定員を120名から110名に減少されたのは、そうした背景から判断されましたか。

川端園長：そのことも要因ですが、経営的な判断も含まれています。

名越委員：すべての産業で、就労人口の減少から人材不足になっていますが、保育園ではどうですか。

川端園長：規模に応じて配置基準がありますので、人員確保、維持は大変です。現状では、毎年補充をしていただいておりますが、厳しい時代に入ったと感じています。

三島委員：園内を一周しましたが、元気な子どもが多いと感じました。

福谷委員：私たちが訪問しても、人見知りすることもなく、笑顔で手をふってくれました。集団行動の中で、普段から対外的な対応ができているからだと思います。

③





三島委員：今日は、米子警察署が来園され、交通安全教室が行われたそうで、園児も喜んで話してくれました。

川端園長：子どもたちは、来客があるととても喜びます。今日も皆さんが訪問されたので、うきうきしていると思います。

三島委員：年齢別にクラスの状態を見ていると、成長ぶりが見て取れます。5歳児では、黙々とブロックを組み立てており、集中力が凄いです。

田平委員：全般的に見て、若い職員が多く配置されているように感じました。

福谷委員：登園降園時は、どのような形態でチェックしていますか。

森安園長：登降園管理は、保護者のスマートフォンによるアプリ（コドモン）での打刻を行っています。あわせて、欠席等の連絡、おたより配信、アンケートなどもアプリを活用しています。

福谷委員：ここは、全面芝生のグラウンドがあり、子どもたちが伸び伸びとした園生活ができており、そのことが子どもたちの表情に表れています。発達障害のあるお子さんも利用されていますが、専門的な知識を持った職員も配置されていますので、総合的な充実感があります。

田平委員：0歳児から就学前まで、幅広い年齢層の園児を日々お世話される職員の皆さんに、敬意を表します。未来を担う子どもたちの成長をよろしくお願いします。

荒井監事：次回は、8月6日（木）14:00 ～
グループホームはたがさき です。

④

